

『武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ』

東京ミッドタウン・デザインハブに新拠点を開設

武蔵野美術大学(東京都小平市/学長:甲田洋二)は、2012年4月2日(月)より、美術大学として初めて、東京ミッドタウン・デザインハブ(東京都港区/構成機関:公益財団法人日本デザイン振興会[JDP]、社団法人日本グラフィックデザイナー協会[JAGDA])内に、デザインを基軸とした情報発信拠点『武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ』を開設、活動を開始いたします。

■目的

長引く景気低迷や少子高齢化社会において、日本の将来に不安が高まっており、大学をはじめとする教育機関にも転換期が訪れていることは言うまでもありません。また、社会における美術大学の役割も徐々に変化しています。この『武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ』では、これからのデザイン、これからのデザイン教育を議論しながら、美術大学の社会貢献力を強め、企業・社会と大学がつながりを持てる場を目指します。

■コンセプト

「ラウンジ」とは、本来ホテルやビルの社交室・休憩室や空港の待合室を指す言葉ですが、「武蔵野美術大学が社会と社交する場・談話する場」という「集う」イメージと「デザインハブから社会へ出発(発信)する場」という「起点」のイメージをコンセプトとしました。

■学長メッセージ

甲田洋二学長は、「東京ミッドタウンが5周年を迎える記念すべき年に、本学が新たな拠点を開設できることを大変嬉しく思います。美術大学から社会にメッセージを発信し、社会・企業からのメッセージを受け取ることで、学生達の刺激となり、意識向上させることにつながると信じています。」と語っています。

■デザイン・ラウンジでの活動予定

- A.啓発活動・・・公開講座・ワークショップの開催、各デザイン団体・企業のデザイナー、活躍しているデザイナー等によるセミナー
- B.連携活動・・・地域や企業、協定校などとの連携、受託研究
- C.研究活動・・・デザインに関するアーカイブ作成、学生作品展示・研究会
- D.交流活動・・・立地を生かした企業や校友との交流、異業種交流会等の対外的イベント企画

一般の方・読者お問い合わせ先

武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ開設準備室
担当:法人企画室 千羽(チバ)、細川
〒187-8505 東京都小平市小川町1-736
Tel. 042 - 342 - 6011 fax. 042 - 342 - 6087
d-lounge@musabi.ac.jp

報道関係者お問い合わせ先

広報代行 共同PR株式会社
担当:山本・中澤
〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル7F
TEL: 03-3571-5159 FAX: 03-3571-5106

『武蔵野美術大学デザイン・ラウンジ』概要

【名 称】 武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ

【英字名称】 MAU Design Lounge

【面 積】 151.54 m²

【所 在 地】 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー5F

【開 設 日】 2012 年 4 月 2 日

【ポイント】

- ・ 数多くの有力企業や各種団体・機関・美術館等が集積した六本木の立地
- ・ デザインハブには、グッドデザイン賞(G マーク)を主催する総合的デザインプロモーション機関である日本デザイン振興会、グラフィックデザイナーの全国組織である日本グラフィックデザイナー協会が入居している
- ・ 美術大学として初めてのデザインハブ参画
- ・ コンテンポラリーアートギャラリーαM(千代田区東神田)に次いで、本学情報発信拠点として 2 箇所目
- ・ ログデザインは基礎デザイン学科教授でもあるデザイナーの原研哉氏

武蔵野美術大学 とは

■創立 : 1929 年 10 月 30 日

■教育理念: 「真に人間的自由に達するような美術教育」「教養を有する美術家養成」

■理事長 : 高井邦彦(たかい・くにひこ) ■学長 : 甲田洋二(こうだ・ようじ)

■学部詳細 : 造形学部(11 学科)、通信教育課程(4 学科)、大学院(修士課程 2 専攻・博士後期課程 1 専攻)

■学生数 : 約 7,400 名 専任教員数: 139 名 ■web サイト : <http://www.musabi.ac.jp/>

■著名な卒業生: 森本千絵、原研哉、大竹伸朗、リリーフランキー、中島信也など

2009年「国際デザインシンポジウム」

2009年、武蔵野美術大学80周年の記念事業として、「国際デザインシンポジウム 21世紀高度デザイン教育の展望－美術大学が拓く新たなデザイン教育へー」を開催しました。国内外で目覚ましい活動を展開されている方々をお呼びして、経済活動のグローバル化と産業の高度化に対応できる、より高度なデザイン専門能力を持つ人材育成について議論されました。



武蔵野美術大学の産官学連携について

さまざまなかたちで企業や地方自治体、諸団体とコラボレートした活動を展開しています。昨年度は立川高島屋、アイリスオーヤマ、ワーナーエンターテインメントジャパン等の企業や、府中の森芸術劇場などの公共施設、岩室温泉旅館組合など地方団体と連携事業を行いました。第一屋製パンと本学が共同で取り組んだ「第一パンブランドイメージプロジェクト」では、第41回食品産業技術功労賞(食品産業新聞社主催)を受賞いたしました。

